株式会社カルティブ

オフィシャルパートナーとしての企業紹介（参加目的等メッセージ、商材、連絡先など）

「地域と企業の架け橋となり、国立公園の未来を共創する」
株式会社カルティブは、環境省との「国立公園オフィシャルパートナーシップ」に基づき、日本が世界に誇る国立公園の保全と、持続可能な地域活性化の両立を目指しています。
【river】https://cpriver.jp/　　【企ふるオンライン】https://kifuru.jp/

担当者（問合せ先）：事業戦略部　諸橋　　連絡先：corporate@cultive.co.jp

パートナー参加に関する基本的な姿勢、考え等

＜関心のある課題、取組＞
・「企業版ふるさと納税」をエンジンにした保全と活用
・ネイチャーポジティブ（自然再興）への貢献
・地域活性化を目的としたワーケーション・企業研修のフィールド活用

＜企業等の強み等＞
「企業版ふるさと納税」を活用した仕組みづくりにより、国立公園の環境保護活動や、魅力的な体験コンテンツの開発を支援。「守るべき自然」を「地域の宝」として次世代へつなぐため、パートナー企業様とともに新たな価値を創造していく。

＜目標、実現したいこと＞
国立公園を『みんなで育てる未来の共有財産』へとアップデートし、100年先まで続く自然と地域の好循環を実現したい。

具体的な取組内容

＜本年度の取組＞

・国立公園の所在する自治体へ公園の保全活動や、企業版ふるさと納税（企ふる）のラインナップに国立公園関連のプロジェクトを増やしていくための活動を行った
・国立公園が所在する自治体と企業のニーズなどを理解し、プラットフォーム「river」や「企ふるオンライン」で、セミナーや個別折衝を通し、国立公園に関するアピールを続けた
・環境省の国立公園関連の担当者をお招きし、オンラインセミナーを開催し、アーカイブを残した
セミナー動画：https://youtu.be/XD2JXKjzieM

＜次年度取組予定、構想＞

・企業版ふるさと納税「企ふる」を使った国立公園関連プロジェクトの掲載を増やす
・企業版ふるさと納税「企ふる」を使った国立公園関連プロジェクトへの寄付促進
・プラットフォーム「river」「企ふるオンライン」での情報発信
・官民連携を加速する国立公園に関するセミナーの開催